

小学六年

国語

解答と解説

1

問一	エ	21
問二	なにか汚い	22

問三	本気で向	自分の子ども	合っ	て	いる	と	ころ	。こ	と	につ	いて	、	23 24 25 26
----	------	--------	----	---	----	---	----	----	---	----	----	---	----------------------

問四	ア	27
	ウ	

問五	う	の	仕	28 29 30 31
	気	母	事	
	持	や	を	
	ち	そ	理	
		れ	由	
		を	に	
		許	お	
		す	そ	
		保	く	
		育	ま	
		園	で	
		の	迎	
		対	え	
		応	に	
		が	来	
		不	な	
		満	い	
		だ	太	
		と	郎	
		い	君	

問六	を	は	な	家	32 33 34 35 36
	補	な	い	庭	
	お	れ	こ	ご	
	う	な	と	と	
	と	く	も	に	
	す	て	あ	事	
	る	も	る	情	
	も	、	の	が	
	の	少	で	あ	
	な	し	、	っ	
	の	で	保	て	
	だ	も	育	最	
	と	親	園	も	
	い	の	は	良	
	う	で	親	い	
	こ	き	の	方	
	と	な	代	法	
		い	わ	が	
		こ	り	取	
		と	に	れ	

問七	イ	37
	エ	

【例】	を	私	38 39 40 41 42
	か	た	
	か	ち	
	え	の	
	て	周	
	生	り	
	き	の	
	て	他	
	い	人	
	る	は	
	。	、	
	だ	そ	
	か	れ	
	ら	ぞ	
	私	れ	
	は	異	
	、	な	
	他	る	
	人	事	
	に	情	

3

① 潔白	問八	問七				
	66 ② 厳正	の	ん	ギ	自	世
		だ	ど	ー	然	界
		と	ん	を	に	中
		い	捨	使	発	の
		う	て	っ	生	あ
		考	る	て	し	ち
		え	と	大	た	ち
		を	い	量	も	ち
		示	う	生	の	で
す	人	産	で	起		
67 ③ 沿革	問九	問七				
	68 ④ 包装	が	で	き	て	い
		ま	す	。		
		目	的	の	経	濟
		活	動	が	費	し
		原	因	な		
		の	経	濟	活	動
		の	た	も	の	を
		く	、	膨	大	異
		、		る	常	気
い		る	象	は		
69 ⑤ 博	問十	問七				
	70	イ	ウ			
		な	ど	ル	は	

2

問五 ア	53	問四			問一 1 エ 2 イ 3 ア 問二 色眼鏡 問三 いつ何時でも通用する	問八	る	ど	対
		鎌	か	朝			態	の	し
		倉	わ	廷			度	よ	て
		で	ら	の			を	う	起
		幕	ず	貴			平	な	こ
		府	、	族			等	こ	す
		を	朝	た			に	と	具
		開	廷	ち			す	を	体
		く	の	が			る	望	的
		の	あ	、			べ	ん	な
を	っ	命	き	で	行				
頼	た	令	だ	い	動				
朝	京	が	と	る	で				
に	都	届	考	か	は				
認	か	き	え	を	な				
め	ら	に	る	知	く				
た	遠	く	。ろ	う	、				
こ	く	い		と	相				
と	離	に		手	が				
。れ	も	も		す					
た	か	か							

(配点) ①〔問三〕8点、〔問五〕10点、〔問六・八〕各15点、他各5点
 ②〔問一・二〕各3点、〔問四〕12点、〔問六〕8点、〔問七〕15点、他各5点
 ③各2点 } 計150点

【解説】

1 いとうみくの「天使のにもつ」から出題しました。

エンジェル保育園で職場体験をすることになった中学二年生の風汰が、慣れない園児たちを相手に悪戦苦闘しながら様々なことを考える場面です。

問一 B1 具体・抽象 置換 比較

前書きと——線①の後に書かれている内容から、風汰がしおん君としおん君の母親との関係について不安を持っている様子が読み取れます。弁当屋での一件で、風汰はしおん君の母親がしおん君に向けた「なにか汚いものを見るような、温度を感じない目」がとても気になっています。ただ、自分ではどうすることもできず、園長に聞いてほしいと思っっているのです。

問二 B1 理由

文章全体を通して、風汰はしおん君の母親に対してあまり良い印象を持っていないことが読み取れます。本文の最後の場面にもあるように、弁当屋であったときのしおん君を見る目がそのきつかけです。——線②直後の「苦しいのはしおん君だ。母親なんかじゃない。あんな目でしおん君を見る母親のことなんて。」から指示語をたどると、十行前に「なにか汚いものを見るような、温度を感じない目をしていた。」という文が見つかります。

問三 B2 推論 具体・抽象 置換

大したことのないけがにもすごい剣幕で怒鳴り散らすという行動は、はた目に見ても気持ちのよいものではありません。

いい大人の行動として考えればはずかしいものでもあるでしょう。ただし、風汰ははなちゃんのお父さんの行動に「感心」もしています。一見自分の子どもに関心がなさそうに描かれている他の親と比べ、はなちゃんのお父さんは自分の子どもに対して真剣に向き合おうとしていると言えるでしょう。風汰の「感心」はこの点に向けられています。①お父さんが子どもに対して真剣に向き合っている内容が書かれているか、②①に過不足がないか、③表記や表現が正しいかを中心に見ています。

問四 B1 具体・抽象 置換 比較

まず、林田先生は園長の対応を肯定的にとらえていることをおさえます。特別なことをするわけではないけれど、気配りの行き届いた素晴らしいやり方である、という林田先生の認識が解答の中心になります。園長の気配りは保護者の話をよく聞くことで気持ちを落ち着かせる、という方面だけでなく必要以上に謝らないことによって現場の職員を守る、という方面にも向けられていますから、どちらかのみに触れた選択肢ではなく、両方に触れた選択肢を選びましょう。

問五 B2 推論 具体・抽象

直前の風汰の発言に注目すると、「太郎君の母親の行動は無責任だ」「それを許す保育園も悪い」と風汰が考えていることが読み取れます。それらの発言から読み取れる心情は「不満」「納得いかない」などの表現で示せるでしょう。①太郎君の母親と保育園に対しての不満だという内容が書かれているか、②①に過不足がないか、③表記や表現が正しいかを中心に見ています。

問六

B3 具体・抽象 置換 推論

林田先生がどのようなつもりで「子どもたちのそばにある調味料」と言っているかがポイントです。直前の場面で林田先生は「代替した方がいいこともあるってこと」と述べています。カレーと肉じゃがの例えは風汰には伝わりにくかったようですが、要は親子間でしつかりやり取りをする時間を持つことが本来望ましい姿だけれど、様々な事情でそれがかなわないときに、その代わりとして保育園が機能すればよいという考えだということです。この考え方は、園長の発言に具体的に述べられています。①保育園が親が足りないところを補う内容が書かれているか、②①に過不足がないか、③表記や表現が正しいかを中心に見ています。

問七

B1 具体・抽象 置換 比較

風汰の人物像について問う問題です。人物像をつかむには、その人物の発言と行動を一つ一つていねいにおさえていくことが最も効果的です。園長や林田先生との会話で実際に発している言葉や、しおん君のことを気にかけている様子と、園長に対しても林田先生に対しても納得いかないことは言い返している一方ではなちゃんのお父さんを機嫌よく帰らせたのを見て「園長マジすげー」と賞賛している様子から、イ・エが正解となります。しおん君のことが気にはなるものの積極的には口を出せずにいるところからア「おせっかい」は当てはまりません。園長や林田先生から「最も良い方法がとれない場合の代替としての保育園の役割」を指摘されるまで、子どもがどう感じるかという視点しか持っていないことから、ウ「直接見えていない部分があることをよく理解し」も当てはまりません。また、しお

ん君と母親の関係を案じていることから、オ「自己中心な人物」も当てはまりません。

問八

C1 推論 具体・抽象 理由 比較

本文では、園長が「すべての園児に同じことをしてあげるのが平等なのではない」という意味の発言をしています。それに賛成であるか反対であるか、どちらの立場をとるにしても理由をそえて説明しましょう。①平等に接するうえで必要だと思えることが書かれているか、②①の考えの理由が書かれているか、③①②に過不足がないか、④表記や表現が正しいかを中心に見ています。

2

汐見稔幸の「人生を豊かにする学び方」から出題しました。自由になるためにはどのようなことが必要かを論じた文章です。

がむしやらに知識を身につけるのではなく、新しく触れた知識に問いや疑問を持ち、想像力を働かせて考えてみるこの大切さや、理想的な状態と現状を理解してうまくバランスをとっていくことの重要性について筆者の見解が説明された文章です。

問一

A2 知識 関係づけ

接続語の問題です。前後の内容をおさえ、どの部分とどの部分か、どのような関係で接続されているかを考えましょう。

1 直前には、京都や神戸にいた平家に朝廷の命令が届きやすかったことが書かれています。これに対し直後には、鎌倉にいる武士には朝廷の命令が届くまでに時間がかかってしまうということが書かれています。前後が対照的な内容になっているので、「でも」が当てはまります。

2 直前まで、朝廷のある京都から遠く離れた鎌倉に幕府が開かれた理由を考えています。話題としては大きく変わっていませんが、前の内容に後の内容をつけ足してくわしく説明しています。したがって、「なお」が当てはまります。

3 直前の「できるだけ資源を無駄遣いせず、必要なものだけつくる」を受けて、「環境には徹底的に配慮する」という内容が書かれています。前の内容が後の内容の根拠となっていることから、「そして」が当てはまります。

問二

A2 知識

直前の「韓国人や中国人を中傷する言説」に洗脳された人の、偏ったものの見方を表す言葉として、「色眼鏡」が入ります。偏った見方をするという意味の「色眼鏡で見ると」という表現を覚えておきましょう。

問三

B1 関係づけ

直後にある「ひとつのことを知っておしまい、ではいけない」に注目します。筆者は学んだ知識を疑うことの大切さを文章内でくり返し述べています。それらをぶつけあつて議論することがこれからの社会において大切なことだというのが筆者の主張です。以上のことから、一度学んだ知識がずっと有効なわけではない、という内容の表現が入ることが予想されます。このような思い込みについては、九行前に同じ意味の内容が書かれています。

問四

B3 理由 具体・抽象 推論

筆者が何を不思議だと感じているかについては、同じ段落内

で説明されています。「不思議」に直結する内容として、「鎌倉で幕府を開くことを認めたこと」が解答の土台になります。主語に当たる「朝廷の貴族たち」「遠くて命令が届きにくい」などの要素をつけ加えてまとめましょう。①朝廷が鎌倉で幕府を開くことを認めた内容が書かれているか、②①に過不足がないか、③表記や表現が正しいかを中心に見ています。

問五

B1 具体・抽象 置換 比較

二つ後の段落で、筆者は「問いや疑問を持ったら、できるだけ口にしなす」と主張しています。問いや疑問を口にすることで議論が起きることがこれからの社会において大切なことだ、というのが筆者の考えなのです。イ「答えを出してくれる人が現れるはず」、ウ「周りから変なやつと思われないうちに」、エ「うまく議論を進めるために」オ「議論を有利に進めることができる」がそれぞれ誤っています。

問六

B2 知識 具体・抽象 置換 推論

「〇〇王国」という表現は、ある物事が盛んである様子の比喩的な表現です。例えば、サッカーが盛んな地域・都道府県を「サッカー王国」などと表現することがあります。これにならうと、「公害王国」は自国内が公害だらけの（＝いくつもの公害が発生した）国、という意味になります。①公害が多い内容が書かれているか、②①に過不足がないか、③表記や表現が正しいかを中心に見ています。

問七

B3 推論 具体・抽象 理由

一般に「言」をつける時には、①会話②強調③本来の意味

とは異なる使い方、の三種類が考えられます。これを踏まえ、「」がついている場合とそうでない場合とで、意味合いがどのように変わって来るかを考えましょう。「」がついていることよって、「筆者が、一般的に言われる『異常気象』とは異なる意味合いで異常という言葉を使っている」ということが読み取れます。一般的に「異常気象」とは「自然環境に置いてこれまでに発生したことのないような気象」を指しますが、筆者はその原因が自然環境ではなく、人間の経済活動にあると指摘しています。このことを示すために「」が使われているのです。①異常気象になっている原因が人間の経済活動だということ内容が書かれているか、②①に過不足がないか、③表記や表現が正しいかを中心に見ています。

問八

B1 具体・抽象 置換

「できるだけ少ないエネルギーで必要なものだけをつくり、廃棄物をなくす生活」のために必要なのは、現在自分たちにとって何が必要なのかを見極める力と、これまでの論理で物事を進めると今後どのような状況が起こり得るかを見通す力です。これは、「何を残し、何を削るか」というバランスをうまくとる力であるともいえます。生産力が上がるのにまかせて産業国家を大きくし続けるのではなく、まだ大きくできるけれどあえて適当な規模でとどめておくという選択ができるかどうかが今後重要になる、という筆者の主張を読み取りましょう。

問九

B1 関係づけ

ぬけている文をもとにもどす問題です。このような問題では、いきなり本文を読んで探すのではなく、ぬけている文自体から

前後にどのような内容が来るはずか、というヒントをしつかり見つけ出してから探すようにしましょう。「そのため」という指示語に注目すると、温暖化を進行させる原因となり得るものが脱文がもどる部分の直前に書かれていることが分かります。それを探していくと、——線⑤の後に、地球の周りにシーリングという厚さ十数キロの層ができていたことが述べられています。

問十

B1 具体・抽象 比較

本文の内容と一致する選択肢を選ぶ問題です。選択肢全体をながめて合っているかどうかを検討するのではなく、本文のどのあたりで述べられている内容と対応した選択肢なのかを考え、実際に本文と照らし合わせながら正誤を判定していきましょう。ア「最初にどのような情報にふれ、どのような知識を得るかということが大切」、エ「必要のないものは消去すべきである」、オ「数少ない知識を様々な方面に活用して経済を回す」がそれぞれ誤っています。また、イの内容は本文の第二・第三段落、ウの内容は——線④前後の段落の内容と一致しています。